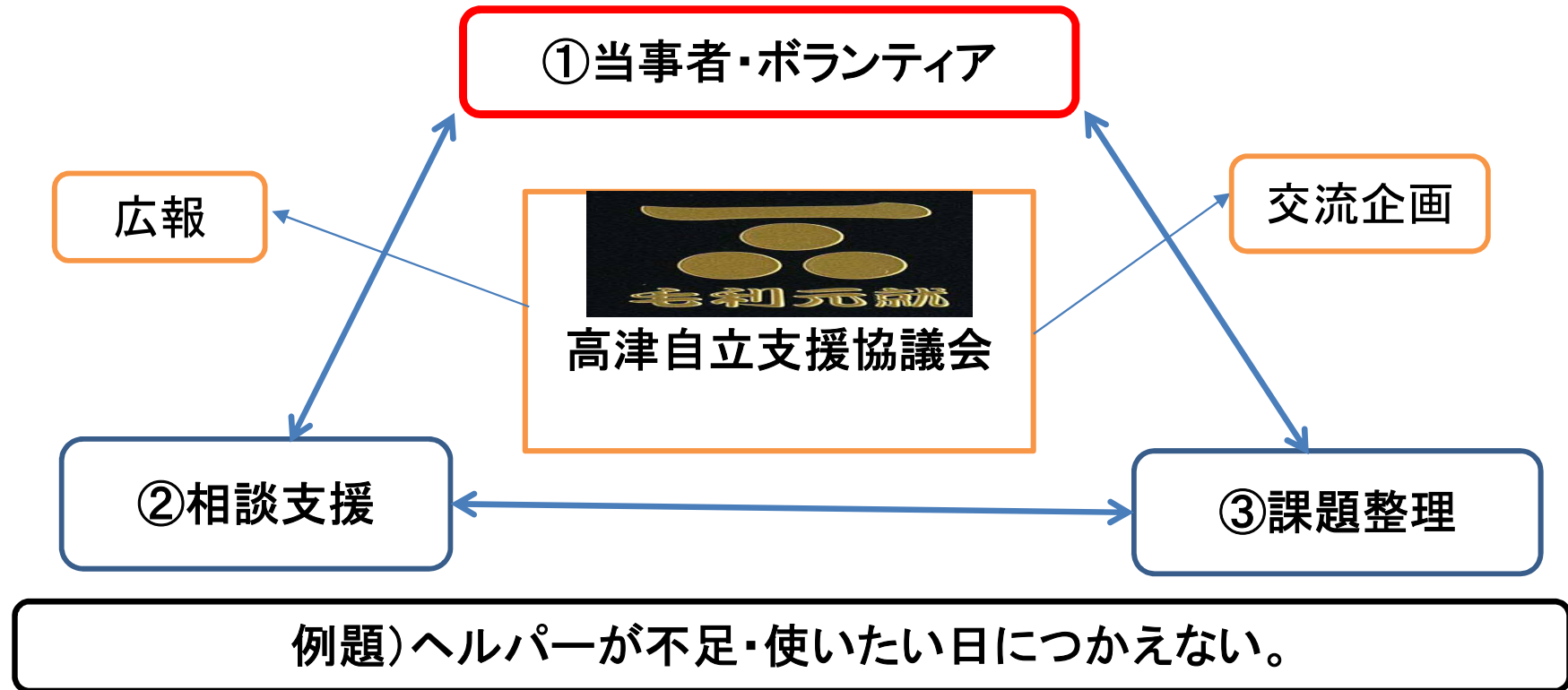


# 高津区3本の矢作戦 ～5年でこんな街にしたい 夢から実現へ～



高津区地域自立支援協議会

# 3つの委員会の繋がり、5年後のイメージ



【こんな感じになるといいなあ】

②で出てきた課題を⇒③へ

③では施策や仕組みの課題は市協議会、制度で届かない「ちょっとこまった時だけお助け隊」が地域の中でできないか？⇒①

①で地域の中で同じ問題意識、何かやりたい人と課題を繋げないか？

# 課題整理委員会では…。

【5年後の目標：地域課題を1つ解消し、解決へのルートを1本つくる】

過去4年間の経過

## <1年目>

○「区で出た課題整理票」の整理・検討・優先順位を決める作業。

\*ヘルパーの課題の多さから、次年度の重点項目に挙げる。

## <2年目>

○居宅サービス事業所への訪問による聞き取り調査の実施と、課題整理(KJ法)。

○区で取り組めることとして、「出前出張講座」の検討。

## <3年目>

- ◆ 出前講座講義内容の精査とチラシ作成など、実行への諸調整
- ◆ 課題表提出以外にも地域課題を拾う範囲の拡大  
(協議会・サー調会議、調整会議)
- ◆ 課題の区内でのフィードバック実行(課題整理委員会で項目ごとにまとめ、問題点を整理)

## <4年目>

- ・課題抽出、整理、フィードバック
- ・出前講座の実施
- ・協議会内にて「グループ討議」の実施(フィードバックした課題を全構成員で検討・共有化する)

## 5年目(今年度)

### ○出前講座の継続

- 居宅サービス事業所、放課後等デイサービス、子ども文化センター(わくわくプラザ)など依頼事業所が増えている。内容は主に「障害児者」について。
- 養護学校から「障害児者サービスについて」の依頼(未実施)。
- 依頼内容に応じて、内容の精査を実施。

### ○高津区内における課題の共有とフィードバック

- 3か月に1度、出てきた課題を委員会で精査し、構成員で課題の共有、グループワークにて精査を実施

## 《5年間の成果と今後活動》

### ＜平成28年度課題整理委員会活動計画＞

◇課題整理  
最新の課題をひろう。  
地域課題への意識  
を継続する。

◇グループ討議  
地域課題の共  
有化  
構成員の交流

◇出前講座  
ターゲットを絞っての営業  
→「障害サービスの理解」  
【例】養護学校  
\*話があれば、他の講座も実施する。

# 相談支援委員会では…。

初年度に設定した

**【行政の仕組みに限定しない区の相談支援のあり方を示す】**

過去4年間の経過

《1～2年目》

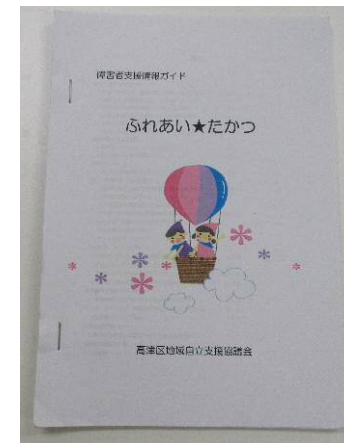
市から提示された相談支援再編計画を確認しながら、高津区の実状に沿った相談支援、体制について議論

再編の内容が決定したことで取り組み内容を見直し

《3年目》

ライフステージに焦点を当てながら困り感として多くあげられる課題を整理し、支援ブックを作成

課題整理委員会と連動した、出前講座における相談支援体制について、レクチャーを担当



《4年目》

**支援ブックの完成**: 相談支援の質の向上を目的とする

# 平成27年度の取り組み

## ◎市障害福祉計画における重点目標である地域移行・地域定着支援に着目

### ●高津区の現状

障害福祉サービスのメニューとなってから現在までの利用者数はわずか数件

→ 区内のニーズを適切に反映しているのか？

→ 他に阻害要因はあるのか？

### ●区内唯一の地域移行支援対象施設であるハートフル川崎病院と顔の見える関係性を構築することにより、潜在ニーズの確認及び地域移行を促進させる土壌づくりを目指す

取り組み① ハートフル川崎病院の協議会への参画  
→ 平成27年8月に実現！（七区ではじめて！）

取り組み② ハートフル川崎病院との交流会の企画  
（病棟見学、ニーズ確認、病院による地域移行の取り組みの共有）  
→ 実施に向け前向きに検討中！



# ボランティア育成委員会では…

## 目標

障害があっても無くても、高津区で暮らす人々が、

自分の経験を 地域で『ちょっとしたお手伝い』として 活かせる

「当事者やその家族などが自由に集える場」をつくることを目指す



## 到達点

地域の人とともに「当事者自身がボランティアを行う」 ことをお手伝い

平成27年1月 ええんじやないか祭り

(物品販売補助)

平成27年7月 高津区民祭

(自主製品販売等)

### 当事者の声

自分の経験を地域で活かすことができた！

不安はあったが、できたことで自信が持てた！！



## 到達点

ボランティア育成委員会での目標

⇒これを当事者とともに取り組むこと

=高津区でこれまで考えていた**当事者参加**



**「当事者が自分の経験を活かす」 仕組み作りには着手できた**

## 反省点

自分の経験を地域で『ちょっとしたお手伝い』として活かせる」仕組みはできつつあるが、

**「自由に集える場」をつくるまでには至らなかった**

## 今後について

目標を達成するため、さらに5か年の計画を立て、それを実行する！

具体的には・・・

- ・イベントボランティア、生活する中でのお手伝いを継続
- ・当事者・家族が自由に集える場を作るため、場所・助成金などを調べる



# 交流企画係

《目的》 福祉、教育、地域の連携を図り、当事者の方たちの思いを地域に発信する。

《内容》 他機関と交流しながら行う企画の立案、準備

## 今年度の企画

- ★ケアマネ連絡会との交流会（9月28日）
- ★手をむすぶ親の会高津支部主催の研修会（モデルケースを紹介、ライフステージに沿った支援）（11月5日実施予定）
- ★まちづくり協議会に参加。災害弱者から話を聞き、地域で何が出来るかを考える学習会（12月1日実施予定）
- ★地域包括支援センターとの交流、連携企画（2月頃の予定）

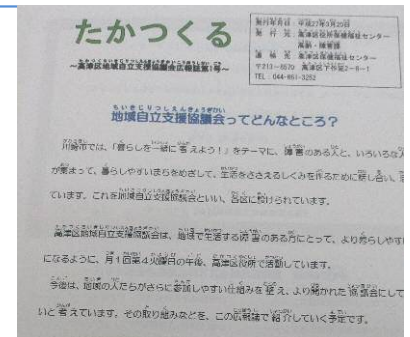


# 広報係

《目的》 地域自立支援協議会の活動を広報誌を通して、地域に発信する。

## 活動内容

- ・広報誌の発行  
→高津区にお住いの皆様が障害の有無を問わず「住みやすい」と思えるような「やさしい街」だと感じられるようなそんな街になってほしいと高津区自立支援協議会は考えています。そんな想いを発信できたらと思います。
- ・ホームページの更新



# <当事者参加について>

高津区での当事者参加・・・「地域の生活者として、自分のできることで参加し生かすこと」

会議の場ではなく、地域で「集える場」を想定し計画  
(ボランティア育成委員会が実行部隊の役割)



イベントの参加や手伝い等呼びかけ、参加できるような  
「場」づくりのため実行



その形は続けながら、構成員としての会議への参加も必要という考えが出る



公募の形をとることにし、検討委員会を設置し検討、全体会議で議論



平成28年4月に開始

